

2025年10月1日

岐阜大学医学部附属病院で化学療法を受けられた患者さんへ

「メトホルミンもしくは DPP-4 阻害薬内服患者における パクリタキセル誘発性末梢神経障害の発症リスクと重症度 に関する観察研究」への協力をお願い

麻酔科疼痛治療科では、下記のような診療を受けた患者さんの情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2014年1月1日から2024年12月31日までに、パクリタキセルを含む化学療法を受けた18歳以上の方

研究期間：研究機関の長の研究実施許可日～2027年12月31日

研究目的・利用方法

本研究は、岐阜大学医学部附属病院において、パクリタキセルを含む化学療法を受けた患者さんの診療記録を用いて、メトホルミンもしくは DPP-4 阻害薬の内服が化学療法による末梢神経障害の発症や重症度にどのような影響を与えるかを調べる研究です。化学療法による末梢神経障害（しびれや痛みなど）は、がん治療を受ける患者さんの QOL（生活の質）を低下させる重要な副作用の一つです。本研究では、糖尿病のお薬として使用されているメトホルミンもしくは DPP-4 阻害薬が、この末梢神経障害の予防に効果があるかどうかを調べることを目的としています。

研究に用いる情報の項目：これらは全て日常診療で実施される項目です。

- 患者基本情報（年齢、性別、身長、体重、BMI）
- がんの種類と進行度、糖尿病の有無
- 化学療法治療の詳細（薬剤名、投与量、投与期間、中止の有無と理由）
- メトホルミンもしくは DPP-4 阻害薬使用の有無と用量
- 化学療法誘発性末梢神経障害の評価（NCI-CTCAE Grade）
- 臨床検査値（eGFR）
- 観察期間内の患者死亡の有無

研究に用いる情報の利用を開始する予定日：2025年10月3日

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究の内容や研究結果等について質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会において審査、承認され、研究科長・病院長の許可を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来に

わたくし当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び岐阜大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

研究責任者

岐阜大学医学部附属病院 麻酔科疼痛治療科

担当：中村好美

住所：〒501-1194 岐阜県岐阜市柳戸 1 番 1

Tel：058-230-6404（平日）

Tel：058-230-6000（夜間・休日）

連絡先

岐阜大学医学部附属病院 麻酔科疼痛治療科

電話番号：058-230-6404

氏名：中村好美

【苦情窓口】

岐阜大学医学系研究科・医学部 研究支援係

〒501-1194

岐阜県岐阜市柳戸 1 番 1

Tel：058-230-6059

E-mail：rinri@t.gifu-u.ac.jp